

学校運営協議会 議事録

校名	府立港南造形高等学校
校長名	山崎 裕彦

開催日時	令和6年12月3日(火) 15:00 ~ 17:00
開催場所	府立港南造形高等学校 本館1階 ガイダンス室
出席者(委員)	美濃委員、渡邊委員、宮原委員、寄委員、文野委員、河井委員
出席者(学校)	山崎校長、今井教頭、石田首席(第1学年主任)、若原首席(総務部長)、佐藤教務部長、上田生徒指導部長、内藤進路指導部(造形科長)、山口保健部長、前田人権推進委員長、川西第2学年主任、酒見第3学年主任
傍聴者	なし
協議資料	・令和6年度 学校運営協議会 実施要項 ・令和6年度 各分掌・各学年より本年度の取り組みについて
備考	

議題等(次第順)	
1	開会の挨拶
2	委員紹介
3	学校より報告 令和6年度 本校教育活動の進捗状況について 令和6年度 各分掌・各学年の取組について
4	協議等
5	閉会の挨拶

協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>○ 学校より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長より、本校教育活動の進捗状況について報告があった。 <ul style="list-style-type: none"> ～ 報告内容 ～ 40周年記念行事、文化芸術鑑賞・体験推進事業(文化庁)、卒業生による講演「ようこそ先輩」小中学校教員対象実技研修会、大学・専門学校による出前授業等、塩田千春氏による講演文化祭、PTA社会見学会、2年生修学旅行、学校説明会、公募コンクール等での受賞海外研修(台湾)、授業力改善の取組み、その他各種イベントへの参加(ウインターカップ展「DIESEL」とのコラボ企画、住之江区「子育てイベント」、すみのえアートビート) など ・各分掌および各学年より、今年度の取組みについて報告があった。 <ul style="list-style-type: none"> ～ 報告内容 ～ 教育課程の編成、教科用図書の選定、生徒指導状況、進路状況、各種検診、防災避難訓練広報・生徒会・PTAの活動、人権教育・人権研修の実施、造形科・各学年の活動 など 	

○ 質疑、協議等

- ・宮原委員より、地域や社会と連携するなど社会との関わりを持ちながら教育活動に取り組むことは多くの生徒にとってとても良いことである、との意見があった。
- ・寄委員より、中学校と比べて多くの生徒が遠方より通学していることから、本校の遅刻指導についての助言があった。
- ・美濃委員より、生徒たちが将来きちんと社会生活を送ることができるよう指導することが大切、遅刻指導については個々の生徒に応じた指導を地道に継続する必要がある、との助言指導があった。
- ・美濃委員より、人権鑑賞学習について、今年度の取組みのように知識を学ぶことよりも印象に残る取組みを行うことが大切である、との意見があった。
- ・美濃委員より、3年生の授業での「プレゼン大会」の取組みのように相手に伝えるという経験を積み重ねることが社会に出た時に役立つ、との意見があった。
- ・渡邊委員より、「ようこそ先輩」の取組みについて、様々なキャリアステージにある卒業生を招いて体験談を聞くことは生徒にとって大きな財産となる、との意見があった。
- ・渡邊委員より、教員が生徒の意見を取り入れて1・3年生合同レクリエーションを開催したことについて、生徒たちは自分たちで考え行動すること、アクションを起こしてアイデアを実現させることを実体験として学ぶことができる良い取組みである、との意見があった。
- ・文野委員より、1年生と3年生の合同レクリエーションのような学年の枠を超えた取組みは、生徒が学校に行くのが楽しいと感じることにつながる、との意見があった。
- ・文野委員より、住之江区役所・子育てイベントについて、小さな子どもにも芸術に触れてもらう機会となりとても良い取組みである、との意見があった。
- ・文野委員より、SNSの不適切使用が問題となっており、その危険性について生徒がより理解を深めることができるよう学ぶ機会を増やす必要がある、との助言があった。
- ・河井委員より、文化祭やPTA 社会見学会、PTA 文化講座など保護者もアートに触れる機会が多くあり、子どもと同じ気持ちで保護者が学校行事に携わることができるのはとても貴重で良い、との意見があった。
- ・河井委員より、生徒指導、遅刻指導について、遠方からの通学者や様々な課題を抱えた生徒が多いという学校特有の状況を鑑み指導方法を検討するべきである、との助言指導があった。
- ・河井委員より、造形科の実習における生徒作品の管理方法や取扱いについて、助言指導があった。

次回の会議日程

日時	令和6年3月初旬 予定
会場	府立港南造形高等学校